

学生へのメッセージ

学 科	医療検査学科	学 年	1		
科 目 名	英語コミュニケーション I	科目コード	F120601/F120602		
担 当 者	脇本聡美				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学習成果)	カテゴリー V (総合評価)	
4.1	4.3	4.4	4.2	4.4	
学生へのメッセージ					
<p>たくさんのコメントをありがとうございます。英語を使って学ぶ、ということを理解してくれた学生さんがいたことを嬉しく思います。知っている英語を駆使して、伝えたいことを発信できた！新しい知識をつけることができた！という経験をたくさんしながら、英語でできることを増やして行ってほしいと思います。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	医療検査学科	学 年	1	
科 目 名	基礎化学	科目コード	M220001	
担 当 者	佐守秀友			
カテゴリー別授業評価調査結果				
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学習成果)	カテゴリー V (総合評価)
4.2	4.4	4.5	4.3	4.4
学生へのメッセージ				
<p>ご受講頂いたみなさん本当にありがとうございました！基礎化学は高校で化学を履修していなかった人、化学がやや苦手な人のフォローアップをするために開講された自由科目です。</p> <p>講義では教科書内容と関連した分野で化学の面白さが伝わるような発展的話題を盛り込んだつもりですが少し物足りなかった方もおられたようですね。また課題では各章の化学的知識を実際に使用する時に用いる計算演習を記述式で行うなどして多くの問題の解答を繰り返してもらいました、他の教科書の課題もある中、かなりの方がしっかりと課題を解いてきてくださっていました。本当にお疲れ様でした！</p> <p>課題や定期試験の解答を見て一つ気になったことがあります。「式は合っているのに計算結果が間違っている」こういった方が多く、せっかく電卓を使って良いとなっているのにもったいないな…と感じます。また、「逆に計算は間違っていないけど、式の立て方が間違っている」という方もおられます。</p> <p>筆算の能力は大切ですが、どれだけ理論がわかっている、計算が完了できなければ正しい検査・実験は行えませんので電卓での正しい計算式の処理の仕方もしっかり学んでいってください。また、その逆にどれだけ計算に自信があっても、化学の知識を式に落とし込めなければ、それでも正しい検査・実験は行えません。</p> <p>基礎化学の講義では、とても基礎的なところからお伝えし、教科書の細かいところまでは触れることができませんでした。時間のあるときに教科書の細かい欄外などを読み進めてみるとよいかと思います。</p> <p>基礎化学の講義がみなさんの一助となっていれば幸いです。</p> <p>もし、化学の基本的なことでわからないことがあれば、いつでも質問のメールなどを送ってきてください！（佐守）</p>				

学生へのメッセージ

学 科	医療検査学科	学 年	1		
科 目 名	基礎生物	科目コード	M220401		
担 当 者	松元英理子				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学習成果)	カテゴリー V (総合評価)	
4.2	4.7	4.8	4.4	4.7	
学生へのメッセージ					
<p>お疲れ様でした。</p> <p>「生物学」を少し理解していただけたでしょうか。そして「生物学」を少しは好きになっていただけたでしょうか。</p> <p>「基礎生物」で学んだことがこれからの専門基礎科目の土台になります。すでに後期の専門科目の難しさを感じている人は多いと思いますが、「基礎生物」の毎回の manaba テストで培った継続的な学修習慣をこれからも続けてください。</p> <p>いただいたコメントは…</p> <p>良かった点：スライド、穴埋め式プリント、授業中のクイズや質問、manaba 小テストなどに関するものでした。</p> <p>→皆さんの「勉強しよう」という意欲が伝わってきます。</p> <p>改善点：「時間割りがきついです」</p> <p>→同感です。でも履修者が少ないので、どうしても 1 限目になってしまうのです。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	医療検査学科	学 年	1		
科 目 名	物理学	科目コード	M220501		
担 当 者	高久圭二				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学習成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.9	4.2	4.2	4.1	4.2	
学生へのメッセージ					
<p>医療検査学科での物理学の授業は初めての担当で、最初の講義で、物理アレルギーの人の感想が多く、どう進めるべきか悩みましたが、皆さんついてきてもらえて良かったです。また、たくさん良いと思ったことを書いてもらえ良かったです。</p> <p>①この授業でよいと思った点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな器具を使って実際に見られたのは、良い経験になりました。どこが重要なのかもよく分かって、テスト対策がしやすいです。 ・教科書の説明だけでなく毎回小道具がたくさんあって、原理についての説明がわかりやすかったです。 ・物理は苦手意識があったが、色々な道具を使って説明していただけてとても分かりやすかったです。 ・毎回道具を用いて説明してくださるのが楽しかったです。 ・授業の初めに生徒の質問に答えていたところが良かった。 ・色々動画を見せてくれたりその場で何かしてくれる事が多く、面白くわかりやすかったです。 <p>②この授業で改善すべきだと思った点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書を元にするならもう少し教科書に沿ったスライドにして欲しい 					

学生へのメッセージ

学 科	医療検査学科	学 年	1		
科 目 名	臨床検査入門	科目コード	M221001		
担 当 者	坂本秀生				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学習成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.8	4.4	4.3	4.3	4.5	
学生へのメッセージ					
<p>臨床検査入門ではこれから学ぶ臨床検査の全体像、臨床検査技師としてのイメージを持つことを意図しました。病院見学で感じたことを大切に、皆さんがなりたい自分になれることを願っています</p>					

学生へのメッセージ

学 科	医療検査学科	学 年	1		
科 目 名	検査入門実習	科目コード	M221101		
担 当 者	坊垣美也子				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学習成果)	カテゴリー V (総合評価)	
4.4	4.4	4.3	4.4	4.5	
学生へのメッセージ					
<p>化学基礎では予習時に教科書以外に一般公開されている動画などを観て頂き、多くの方が予習を生かした実習・レポートへの取り組まれてたものと思います。一方、予習の知識に基づかず隣の人がやっているからということと同じ操作をして失敗をしている方もおられました。上級者の操作を真似ることは非常に有意義ですが、正しい知識が無いまま他人の作業を真似すると重大なミスにつながるという貴重な体験をされた方も多いと思います。ぜひ皆さんには知識に裏打ちされた操作を意識してこれから先の 4 年間の実習に励んで頂ければと思います。(佐守)</p> <p>病理診断学や病理検査は、手術や死亡解剖で摘出した組織の肉眼観察、組織切片（凍結または固定切片）、剥離細胞診、体液中の細胞や結晶物を顕微鏡で観察し診断する検査です。そのため顕微鏡の構造や使用方法を完全に理解し日常業務を行うことが不可欠です。学生としても顕微鏡を使用する病理学検査実習をはじめ血液検査・微生物検査・一般検査での尿沈渣などの形態学の分野では、顕微鏡の基本構造を理解したうえで実習を行っていただきたい。(畠・佐野)</p> <p>授業評価に関して今年は「検査はスピード勝負であるのかな?」と思いました。テストでの時間制限が適切じゃないと思いました。」という改善コメントをいただきました。貴重なご意見ありがとうございます。実技試験の時間制限と解釈したうえで、また3つの実習のうち、どの試験に言及しているかは不明ですが、検査は正確さももちろんのこと、スピード勝負でもあります。病院によってはオーダーが来てから、どのくらいの時間で結果を返すという、目標時間が設定されているところもありますので、作業手順をしっかり把握して、スムーズに検査ができることも大切です。この4年間で早さ、正確さ双方に意識して作業ができるように成長していけるよう頑張ってください。(溝越)</p> <p>皆さんからの評価は学科平均を超え、肯定的な評価が大半を占めていました。検査入門実習は大学1年生前期では唯一の実習で、さまざまな機器・器具を扱う検査技術の第一歩を感じられたことでしょう。</p> <p>コメントの中に「比色分析のレポートを書くとき、知識が無すぎて良く分からない結果</p>					

になった」というものがありました。比色分析の原理や分光光度計は今回初めて耳にする、目にするもので短い時間に理解するのが難しかったのでしょうか。manaba にあげた資料やルーブリックを参考にして、それでも分からなければ積極的に質問しましょう。これからの学修では自分で調べる、教員に質問する、分からないままにしない、このような姿勢で臨んでください。
(坊垣)

学生へのメッセージ

学 科	医療検査学科	学 年	1		
科 目 名	医学概論	科目コード	M221201		
担 当 者	坂本秀生				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学習成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.6	4.5	4.3	4.2	4.4	
学生へのメッセージ					
<p>医学の歴史に始まり、最新の医学情報まで多岐に渡った授業でしたが、それらの中からその概要を理解していれば、今後に繋がります。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	医療検査学科		学 年	1	
科 目 名	生理学 I		科目コード	M221501	
担 当 者	堀江修				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学習成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.8	3.9	3.6	4.0	3.9	
学生へのメッセージ					
<p>授業評価をいただきありがとうございます。本授業を私が担当するようになって全 15 回が対面授業なのは 2 回目です。今回は新カリキュラムに沿って、旧カリキュラムでは後期にあった本授業が前期に開講されたことが大きな特徴で、私自身のとまどいもありました。授業において声が聞き取りにくいという評価があり、これはさらに改善して授業に取り組みます。カラフルな授業スライドと無理のない課題、そして学生さん自信が勉強できる時間を授業中に導入できなかったことから、授業内容・授業内容の評価は昨年よりはやや悪くなりました。専門科目も進んでいない 1 年生学生さんに取り組みやすい課題を定期的に出すなど、改善に努めていきます。教員自身が興味を持つに至った過程などの話をさらに盛り込んで、生理学の知識・技術の修得に大いなる興味をもっていただく講義を行いたいと思います</p>					

学生へのメッセージ

学 科	医療検査学科	学 年	1		
科 目 名	公衆衛生学 I	科目コード	M224001		
担 当 者	栃倉匡文				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学習成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.8	4.2	4.3	4.0	4.4	
学生へのメッセージ					
<p>授業内容がうまく伝わっていたか正直心配していましたが、皆さんからの授業評価を見て安心しました。公衆衛生学は日々の生活に欠かせない実践的な学問です。日頃から、公衆衛生に関する情報に興味を持つようにしてください。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	医療検査学科	学 年	1		
科 目 名	情報科学概論	科目コード	M225001		
担 当 者	関 雅幸				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学習成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.9	4.2	4.4	4.1	4.2	
学生へのメッセージ					
<p>学生による授業評価調査は「授業は知的関心や好奇心を起こす内容であった。」や「授業の到達目標がシラバスや授業でわかりやすく示された。」という事柄に対して課題が残る結果となりました。皆さんは調べ物をするときはスマホですか。それともパソコンですか。スマホでという方が多いと思いますが、パソコンでタッチタイピングはできますか。様々な職場ではまだパソコンを使っていますので、タッチタイピングは最低できるようになりましょう。そしていろんな場面でパソコンを使っていると国試で問われるような知識も知らないうちに身につけてきます。そうすると4年で情報科学について慌てて復習する必要がなくなり、他の分野の勉強に時間を当てることができますので、1年生のうちからしっかりとパソコンを使ってください。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	医療検査学科	学 年	1		
科 目 名	医療工学	科目コード	M225101		
担 当 者	関 雅幸				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学習成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.9	4.0	4.3	4.0	4.1	
学生へのメッセージ					
<p>学生による授業評価調査は「授業は知的関心や好奇心を起こす内容であった。」という事柄に対して課題が残るという結果になりました。大学に入学したばかりで物理に関連した科目が必要ということで、難しく感じた方も多かったのではないかと思います。心電図などの検査に関連する事柄が含まれていますので、しっかり復習をしておいてください。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	医療検査学科	学 年	1		
科 目 名	検査機器総論	科目コード	M225301		
担 当 者	坂本秀生				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学習成果)	カテゴリー V (総合評価)	
4.0	4.5	4.5	4.2	4.6	
学生へのメッセージ					
<p>臨床検査現場で実際に使用する際には機器に付属する取扱説明書、職場の決まりごとに沿って操作を行います。</p> <p>施設ごとに決め事は変わりますが、基本は同じなのでこの授業でのことを思い出してみてください。きっと皆さんも使いこなせます。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	医療検査学科	学 年	2		
科 目 名	生理学Ⅱ	科目コード	M221602		
担 当 者	堀江修				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学習成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
3.8	4.1	4.0	4.2	4.1	
学生へのメッセージ					
<p>授業評価をいただきありがとうございます。本授業は私が担当するようになってはじめて全15回が対面授業となりました。遠隔・対面授業のときから声が聞き取りにくいという評価があり、これはさらに改善して授業に取り組みます。カラフルな授業スライドと無理のない課題、そして学生さん自信が勉強できる時間を授業中に導入したことから、授業内容・授業内容の評価は昨年同様よくなりました。ただ平均点よりはまだ低いので、さらに取り組みやすい課題を定期的に出すなど、改善に努めていきます。教員自身が興味を持つに至った過程などの話をさらに盛り込んで、生理学の知識・技術の修得に大いなる興味をもっていただく講義を行いたいと思います。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	医療検査学科	学 年	2		
科 目 名	生化学Ⅱ	科目コード	M221801		
担 当 者	坊垣美也子				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学習成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
4.3	4.3	4.2	4.4	4.4	
学生へのメッセージ					
<p>今回の生化学Ⅱの評価は遠隔授業で行った昨年とほぼ同等でした。今年度は対面授業となったため、M1 後期の授業スタイルである書画カメラを用いた書き込み式で授業を進めました。このスタイルではいつも「スクリーンに映りきらない」、「前の照明を消してほしい」、「書き写しが間に合わない」といったコメントがあります。スクリーンに移っていない、照明を・・・といったことはその場で伝えて下さい、と M1 後期に伝えています。遠慮無く指示してもらいたいと思います。また、書き写しが間に合わない学生もいるようですが、早く書き込んで待つ学生がいることも考えて下さい。</p> <p>「昨年の遠隔授業の動画が見れたのが良かった」「小テストが毎週大変だったけどこの小テストで簡単に復習できて良かった」といったコメントがありました。manaba には昨年の動画をアップしています。授業内容は大きく変わりませんので、書き写しが間に合わない学生はこちらで確認することができますし、復習することもできます。折角なので利用してもらいたいと思います。評価に加える小テストはほとんどの学生が解答し一定の得点を得ました。しかし、一部解答しない学生もいました。なぜでしょうか。</p> <p>生化学は2年後期からの臨床化学検査学や臨床病態学を学ぶための基礎になる科目です。これらの科目を学びながら、生化学Ⅱで学んだ各栄養素の代謝とその調節という、体の中での物質の変化を再度確認してみてください。生化学とのつながりが認識できると思います。1年後、3年生の後期になれば国家試験対策が少しずつ始まります。生化学の授業プリントは国家試験の勉強にも役立つようにしています。国家試験の勉強を始めるときには手元に置いて活用して下さい。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	医療検査学科	学 年	2		
科 目 名	生化学実習	科目コード	M221901		
担 当 者	坊垣美也子				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学習成果)	カテゴリー V (総合評価)	
4.7	4.4	4.4	4.5	4.4	
学生へのメッセージ					
<p>この実習で皆さんに身につけていただきたかったことは、次の3つです。実習の原理を理解し、実践（実習）する。実習結果から何が言えるのかを考察する。そして、それらをまとめる。まだ、実習レポートにも慣れておらず、大変な面があったと思います。難しい、分からないで終わらず、まず自分で考えてみて、分からないところを質問する姿勢を身につけていってください。今年度は、「自分で考えて準備・片付け（実習）する」ことを学んでもらうために、台ごとで試薬の配布、片付け、洗い物などを協力して行ってもらいました。上手に実習（操作）することも大切ですが、周りの人のことを考え、協力することも身につけていってください。3年後期の臨床化学検査学実習では、自分で考えて実習してもらうこととなります。これから臨床分野の実習が多くなります。自分で考え、学び実習に臨む力を身につけていってください。（澁谷）</p> <p>今年度の生化学実習の授業評価の結果は昨年に比べてやや高く、Iの学生自身は0.1、II授業内容、IV学習効果、V総合評価とも0.1の、III授業方法は0.3の上昇となりました。実習項目のNo17「レポートや課題などのチェックや指導は適切だった」No19「スタッフの補助・対応は適切だった」は4.6、No18「器具・備品・試薬などの準備は適切だった」は4.7と高い評価でした。コメントでは「レポートの添削が細かかった」「レポートがしっかりチェックされていて、レポートを書く力が身についた」「レポートが大変でしたが、自分で考えて書く力がついたので満足です」「レポートが毎週大変だったけど、考察の書き方などが上手くなったと実感した」といったものがありましたが、「レポートの再提出基準が厳しすぎる」というものもありました。また、「レポート再提出の時のコメントが分かりづらく困った」がありましたが、「理解できないことがあった時、一度聞いたことでも丁寧に教えてもらった」とのコメントもありました。ぜひ質問してください。</p> <p>生化学実習の目的に「実験結果を考察し、結論を導き出す論理的思考力を養う」をあげていますが、上記のコメントや実習項目の評価 No17 (4.6)、「自分で考える姿勢が身についた」(4.6) などから目的をある程度達成できていると考えています。M2 後期以後も多くの実習があ</p>					

り、M4 では卒業研究があります。それぞれの実習や研究でも自分で考える姿勢をもち、論理的思考力を養い、自ら課題を見つけ出して解決できる力を身につけられるよう努力しましょう。そして卒業後も自ら学び、成長し社会で活躍できる臨床検査技師になってください。（坊垣）

学生へのメッセージ

学 科	医療検査学科	学 年	2		
科 目 名	病理学	科目コード	M222001		
担 当 者	新谷 路子				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学習成果)	カテゴリー V (総合評価)	
4.0	4.2	4.2	4.2	4.2	
学生へのメッセージ					
<p>授業評価に回答いただきありがとうございました。</p> <p>今年度は、全回を対面スタイルで行えると思っていましたが、最後のみ遠隔授業になってしまいました。</p> <p>ここ数年、“同じ情報量ならよりシンプルに”をモットーにスライド作成をしています。スライドの文字数や重要ポイントのアピールの仕方など、さらに工夫を続けていきます。</p> <p>使用したテキスト『シンプル病理学』は、カラー写真も多く読みやすくまとめられていますので、どうぞ今後も読み続けて下さい。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	医療検査学科	学 年	2		
科 目 名	免疫学	科目コード	M222101		
担 当 者	鈴木				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学習成果)	カテゴリー V (総合評価)	
4.0	4.5	4.5	4.4	4.5	
学生へのメッセージ					
<p>本授業評価のおかげで、授業の改善点がわかりました。ありがとうございました。今後、ご意見を反映できるような方法を検討したいと思います。特にパワーポイント使用の際はアプリのレーザーポインターの使用を心掛けるようにします。</p> <p>免疫学は分子生物学、生化学、感染症学など様々な分野を含むものです。そのため、免疫学の理解のためには、全体像を理解することが大切で、細かい内容はそのあとに掘り下げていくべきであると思われます。全体像の理解という点では、皆さんの試験結果などをみると、本講義である程度達成されたと思います。これからは、免疫学の中で興味を持った分野があったら、自主的に図書館などで文献を探して、発展的な勉強をしていってもらいたいと考えます。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	医療検査学科	学 年	2		
科 目 名	血液学	科目コード	M222201		
担 当 者	堀江修・澤村暢・池本敏行				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学習成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.8	4.2	4.1	4.3	4.3	
学生へのメッセージ					
<p>授業評価をいただきありがとうございます。一昨年度の血液学の講義からオムニバス講義を採用しましたが、今回初めて全 15 回が対面授業となりました。昨年のようなモザイク感はなくなったと思います。授業内容、授業方法、学習の成果、総合評価共に昨年より少し評価は上昇しました。これは血液学に魅力をもってもらえたことが大きいと感じます。授業方法のうち、声が聞こえにくいという指摘は毎回あるので、できるだけ修正して次の授業に臨みます。みなさんにさらに血液学に興味を持ってもらえる講義を実施することを第一に考え、担当教員一同で統一感のある講義にしたいと思っています。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	医療検査学科	学 年	2		
科 目 名	遺伝学	科目コード	M222402		
担 当 者	坂本秀生				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学習成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.8	4.4	4.4	4.4	4.4	
学生へのメッセージ					
<p>古典的遺伝学、分子遺伝学のうち皆さんは主に分子遺伝学に関わるが多くなりますが、古典的遺伝学の基本も抑えていれば、理解がさらに進みます。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	医療検査学科	学 年	2		
科 目 名	生理学と日常生活	科目コード	M222601		
担 当 者	杉山育代				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学習成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
4.3	4.2	4.3	4.4	4.3	
学生へのメッセージ					
<p>学生の皆さんは、本授業に意欲的に参加していたことを嬉しく思っています。身近に起きる生理現象を1年後期と2年前期で習ったことを総合して考えられる自分に嬉しく、考えることの面白さを実感したという学生さんからの意見が多かったです。本授業内容は、これからの大学での学修に役に立つと思います。特に生理系授業に必須の内容を盛り込んでいましたのでそれを実感してください。これからも知ることの楽しさ、考えることの面白さを肌で感じながら勉強してくださいね。杉山でした。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	医療検査学科	学 年	2		
科 目 名	分子細胞生物学	科目コード	M222701		
担 当 者	坂本秀生				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学習成果)	カテゴリー V (総合評価)	
4.0	4.7	4.8	4.6	4.7	
学生へのメッセージ					
<p>分子細胞生物学は、文字通り細胞の中を個々の構造物に関わる分子レベルの話が多く、難解に感じがちです。ただ、授業で習ったあの小さな物質が相互に作用して、この文章をあなたが読み理解していることは事実です。授業の中でも取り上げましたが、抗ガン剤の作用メカニズムも分子細胞生物学を理解していると、薬剤によってはスンナリ理解できるようになります。それに臨床検査を行なう際にも。体内のメカニズムを知っていると検査の奥深さに気がつきます。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	医療検査学科	学 年	2		
科 目 名	医療工学実習	科目コード	M225201		
担 当 者	関 雅幸				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学習成果)	カテゴリー V (総合評価)	
4.4	3.9	4.0	4.2	3.9	
学生へのメッセージ					
<p>学生による授業評価調査は「授業は知的関心や好奇心を起こす内容であった。」や「毎回の授業内容はよくまとまっていて、よく理解できた。」という事柄に対して課題が残る結果となりました。レポートを手書きとしていることに対する意見がありましたが、事前に説明したと思いますが、人のレポートをコピーする人たちがほかの実習で以前いたからです。コピーしては勉強にはなりません。大変だと思いますが、効率よくレポートを書く方法を見つけてください。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	医療検査学科	学 年	2		
科 目 名	基礎検査学	科目コード	M231501		
担 当 者	新谷 路子				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学習成果)	カテゴリー V (総合評価)	
4.0	4.2	4.2	4.2	4.1	
学生へのメッセージ					
<p>授業評価に回答いただきありがとうございました。</p> <p>今年度は、全回を対面スタイルで行えると思っていましたが、最後のみ遠隔授業になってしまいました。</p> <p>ワークシート（書き込みプリント）を仕上げるのは、大変だったと思います。プリントの内容・分量は、今後も継続的に修正していきます。</p> <p>後期からは基礎検査学実習が始まり、教科書で学んだことを実際に体験していただきます。さらに理解が深まり、一般検査の重要性や面白さが伝わることを願っています。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	医療検査学科		学 年	2	
科 目 名	生理機能検査学 I B		科目コード	M233101	
担 当 者	杉山育代、田村周二、伊藤彰				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学習成果)	カテゴリー V (総合評価)	
4.0	4.2	4.1	4.2	4.2	
学生へのメッセージ					
<p>生理機能検査学 I AB, II AB の 4 つの科目は、生理機能検査の基本です。そしてこれらの基になっているのは、生理学と解剖学です。今回生理機能検査学が苦手と感じている学生の皆さんは生理学と解剖学も復習してください。2年生までの基礎科目を自分のものにしておかないと、3年生科目を積み上げることは難しいです。しっかりと 4 つの生理機能検査学を学んでください。</p> <p>また、杉山より 3 年生夏終了が期限の生理系で出て来る疾患についての課題も、必ず 2 年修了までを目指してやっておきましょう。</p> <p>やるべきことを怠らずにすると、国家試験も就職も楽勝です。</p> <p>頑張りましょう！</p> <p>科目担当責任者 杉山育代</p>					

学生へのメッセージ

学 科	医療検査学科		学 年	2	
科 目 名	医療英語		科目コード	M236001	
担 当 者	山崎麻由美				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学習成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.9	4.3	4.3	4.3	4.3	
学生へのメッセージ					
<p>「医療英語」では専門科目をご担当の3人の先生方に講義を担当していただきました。それぞれのご専門の立場から「読む」ことや「書く」こと、「研究」、「グローバルな視点をもつ臨床検査技師」というテーマで講義していただきました。それぞれ興味深い講義でした。また皆さんにとって英語を学ぶモチベーションになったかと思います。研究や仕事の上での英語の必要性や英語学習のヒントを下さったので、今後の学習に役立ててください。</p> <p>今年の皆さんは、課外学習にも時間をかけている人が多かったです。これはとても良いことです。授業に出てただ聞いてノートを取るだけでなく、事前に自分で調べ、あるいは復習をすることで、知識は定着していくからです。マナバの課題も毎回提出でしたが、皆さんは遅れることなく提出できていました。</p> <p>「医療英語」で学んだことはこれから先に必要な英語のほんの一部にしか過ぎません。英語が好きな人、苦手な人、様々だと思いますが、今後は自分にあった英語の付き合い方を見つけてもらえればと思います。医療に携わると英語は必ず必要になってきます。将来にわたって自律した英語学習者になってくれることを願っています。</p> <p>また本年度使用したテキストは今後も役に立つことと思います。時間を作ってふりかえてみてください。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	医療検査学科	学 年	2	
科 目 名	臨床検査総論	科目コード	N220901	
担 当 者	溝越祐志、田村周二			
カテゴリー別授業評価調査結果				
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学習成果)	カテゴリー V (総合評価)
4.0	4.5	4.6	4.3	4.5
学生へのメッセージ				
<p>8 回分の講義お疲れ様でした。臨床検査に関する授業内容はいかがでしたでしょうか。皆さんにとっては専門外であり、馴染みがない分野に少し戸惑ったかもしれません。患者さんをケアするため、実技だけでなく人の心理面など、多岐にわたる分野を修得しなければならない皆様は大変であり偉大だと、看護学科のシラバスを眺めながら感じていました。そのような皆様にとって、今回の分野は主軸を置くようなものではないと思います。ただ、もし余裕がある場合は、患者さんの症状が体内のどのような変化の結果起きているかを考えるようにしてみてください。体内の変化を考える力がつけば、患者さんをケアするうえでもとても役に立つと思います。</p> <p>授業の改善点として「授業内容と定期試験で出題する予定の内容との落差がかなりあると感じた。」「レポート試験と書いてあったのに、受け始めたら筆記試験に代わっていた。」とのコメントをいただきました。ありがとうございました。</p> <p>どちらも心当たりがあり申し訳なく思っています。授業内容と定期試験の内容の差についてですが、テストでは患者の検査値から病態を推察する RCPC という形式で出したことに対するコメントだと思います。</p> <p>検査値というものは、知識として知るだけでなく、その知識を利用、応用して病態を考えて初めて有用なものとして使われるものと考えており、皆様の思考力を聞くためにもこの形式にしました。ただ、8 回の授業で幅広い検査分野を学ばなくてはならない、皆様には少し酷なテストだったとも思っています。来年の定期試験は、授業にそった内容へシフトすることも考慮にいれたいと思います。</p> <p>また、評価方法に関してもご指摘の通りです。来年のシラバスにはしっかりと反映させるようにいたします。ただ、教務課に確認し、評価方法の変更に関しては、1 回目の授業で学生に伝えればよいと確認済みであることはお伝えしておきます。</p> <p>検査値から病態を推察することはとても難しいことと思いますが、仕事をしていくうえで、看護師がその力を持っていると、他の人と比べて大きなアドバンテージになると思います。ぜ</p>				

ひこの授業の単位のための知識ではなく、働くうえでの知識として、今後検査値の意味を頭に定着していただけると嬉しいです。

学生へのメッセージ

学 科	医療検査学科	学 年	3		
科 目 名	血液検査学実習 I	科目コード	M230401		
担 当 者	堀江修・澤村暢				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学習成果)	カテゴリー V (総合評価)	
4.5	4.6	4.5	4.7	4.6	
学生へのメッセージ					
<p>授業評価をいただきありがとうございます。授業評価はすべての項目で平均点以上でしたので、実習は成功したということができると思います。特に学習成果と総合評価が大変高かったのが誇りです。この調子で後期もがんばりたいと思います。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	医療検査学科	学 年	3		
科 目 名	細胞検査学	科目コード	M230701		
担 当 者	布引 治				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学習成果)	カテゴリー V (総合評価)	
4.0	4.7	4.6	4.6	4.7	
学生へのメッセージ					
<p>学生へのメッセージ</p> <p>この科目では多くの細胞像を供覧しました。細胞診断は多くの細胞像をみることによって力がつきます。次のステップは顕微鏡を使った実践編「細胞検査学演習」です。今回学んだことを臨床現場の標本で確認してください。</p> <p>「演習」へ進まず勉強はここまでの方は国試問題の高得点を目指して下さい。授業を通じ細胞検査士の仕事のおもしろさを感じ取っていただけたら幸いです。</p> <p>受講生のコメント</p> <p>① この授業でよいと思った点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国試問題を解きながら試験対策をしてくれる点がとてもありがたかった。このような形式の授業が増えればいいと思います。 ・国試の解説がわかりやすかったです。 ・アンケートで理解度をみながら授業をするのはとてもわかりやすく、楽しかったです。 ・投票形式にすることでどれだけ常識問題なのかわかりやすかったです！ ・1回説明して終わりではなく、じっくり丁寧に説明して下さったのでわかりやすかったです。 ・独特な表現が面白かったです。 ・クイズ形式はとてもいいと思います。頭に入ります。 ・複数の細胞像を見せていただいたので分かりやすく、解説も分かりやすかったです。 <p>→ありがとうございます。さらに磨きをかけます。QRコードを用いたweb投票授業はこれからも増やしていきます。</p> <p>②③教育設備等で改善すべき点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音声が届きにくいことがあった。 <p>→おそらくワイヤレスマイクの電池切れに気づかずしゃべった時と思います。お詫びと共に2401教室設備改善に向け、大学に要望します。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	医療検査学科	学 年	3		
科 目 名	臨床化学検査学Ⅱ	科目コード	M231101		
担 当 者	林伸英				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学習成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
4.0	4.4	4.4	4.4	4.4	
学生へのメッセージ					
<p>臨床化学検査学（Ⅰ・Ⅱ）は、国試に出題されてきた内容および重点的な事項を理解してもらうために教科書にそって講義をつくる必要があると考えています。しかし、教科書を使った内容が中心になってしまうと、平坦な退屈な授業になってしまいがちです。そうならないように、動画の教材やスライドを使ったプレゼンを用いて、その内容を教科書で確認する手順で進めるよう心がけました。</p> <p>すべて対面授業で行えてよかったと思います。問5.意欲的に参加した、問9.聞きやすい話し方、問10.わかりやすい、問11.進行速度の授業方法について好評価で、事前の予習を指示したことによって、皆さんの理解度が増したと考えられます。この授業でよいと思った点では「説明がわかりやすかった」「国家試験に似たような問題を小テストで出してください、しっかり勉強することができました」「ラインマーカーの予習や授業の終わりの小テストがあったので、予習、復習ができて良かったです」とよいコメントを頂きました。この内容を後期の臨床化学検査学実習で実際に体験して理解を深めて頂ければと考えています。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	医療検査学科	学 年	3		
科 目 名	遺伝子・染色体検査学実習	科目コード	M231401		
担 当 者	松元英理子・溝越祐志				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学習成果)	カテゴリー V (総合評価)	
4.5	4.5	4.5	4.6	4.6	
学生へのメッセージ					
<p>【松元】 実習お疲れさまでした。 「全部機械がやってくれると思っていたのに、意外に手間と時間がかかる。」と感じたのではないのでしょうか。一つ一つステップを踏んで進めてゆくことが、解析原理の理解につながると考えています。 さて授業評価の結果ですが、設問別の評価で高かったものは、「レポート等のチェック」「試薬等の準備」「スタッフの補助・対応」の他に「自分で調べ、考える姿勢が身についた」が高い評価になっていました。 自分の手を動かして出したデータを目の前に、これまで講義で学んできた知識やさらに自分で調べた知識を使いこなして論理的に考え、解決策を見出していく…これが社会で必要とされる「力」です。皆さんは実習を通して十分にトレーニングを積んだと思います。 多くのコメントをいただきました。ありがとうございます。 良かった点としては、「レポートの添削・解説やループリック」「毎回の課題」などが挙げられていました。皆さんの学修意欲が伝わります。 改善すべき点としては、「(松元の) 講義が長い」という意見を複数(たくさん?!)頂きました。全員に理解してもらおうとすると、つい長くなってしまいます。工夫します。 それから「マニュアルがみにくい」という意見も複数ありましたが、具体的にどこか(項目の配置?、フォントや行間などの体裁?、印刷状況?)教えて頂けると改善できます。今からでもお願いします。</p> <p>【溝越】 皆さんが実習で何気なく行った PCR はキャリーマリス博士が開発し、1993年にノーベル化学賞をとった大発明です(ちなみに2019年の8月に亡くなられてしまいました)。この技術の特にすごいところはサーマルサイクラーさえあれば、たとえ一大学の一実習でも簡単に実施できるという利便性だと思います。簡単に単純な作業でしたが、実はこの工程に画期的なアイデ</p>					

アが濃縮されているということ、また、実習で画期的な技術のひとつに触れていたということを知っていて欲しいと思います。このようなコロナ禍だからこそ、PCR の重要性については肌で感じられたのではないのでしょうか。

改善すべきこととして「レポートの説明をもう少し詳しくしてほしい」という意見をいただきました。貴重なご意見ありがとうございます。授業の時間が限られているため、レポート説明の時間が十分にとれないことや、人によりどの程度話してほしいかは変わるため授業中で対応するのは難しいところがあります。そのため、来年は解説の動画を manaba に挙げることを検討しています。詳しく説明してほしいという前向きな意見は、私たち教員にはとても嬉しい意見ですので、ぜひ改善検討させていただきます。

学生へのメッセージ

学 科	医療検査学科	学 年	3		
科 目 名	免疫検査学実習	科目コード	M232101		
担 当 者	鈴木 柝倉 岡本 島袋				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学習成果)	カテゴリー V (総合評価)	
4.5	4.6	4.6	4.6	4.6	
学生へのメッセージ					
<p>本授業評価のおかげで、授業の改善点がわかりました。ありがとうございました。音響機器の不調に関して、また発表時の質問への配点の仕方など、次年度に向けて改善していきたいと思います。</p> <p>本実習を行う教員全員が実習は対面でこそ行う意味があると考え、感染を防ぎながら対面実習時間がとれるように努力してきました。また教員間で話し合い、一昨年度から実習内容を改定して、より病院等での実際の検査に近い実習を行うように変更しました。</p> <p>このため本年度も対面で様々な重要な実習を行うことができたと考えております。皆さんの評価・ご意見をみると、本授業に積極的に参加いただいたことがわかり、大変ありがたく感じます。</p> <p>免疫検査学は免疫学、感染症学など様々な分野の内容を含むものです。そのため、初めのうちは理解するのが大変かもしれませんが、一旦わかってしまえば皆さんの得意分野になっていくかと思えます。免疫検査学が皆さんの得意な（好きな）分野になっていくことを期待しています。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	医療検査学科	学 年	3		
科 目 名	呼吸・循環機能検査学	科目コード	M233401		
担 当 者	松田 正文				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学習成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.9	3.4	3.3	3.7	3.4	
学生へのメッセージ					
<p>幾つかの状況における、呼吸機能と循環機能との関連を講じたつもりですが、十分に伝わらなかったところがあるようです。話し方を含め、改善を考えています。</p> <p>ただ、授業内容からすると授業以外の学習時間が少なすぎます。多くの科目を学修しなければならぬ状況はわかりますが、頑張ってください。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	医療検査学科	学 年	3		
科 目 名	画像検査学	科目コード	M233501		
担 当 者	杉山育代				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学習成果)	カテゴリー V (総合評価)	
4.2	4.2	4.0	4.3	4.2	
学生へのメッセージ					
<p>本授業進行について皆さんからご意見をいくつか頂いています。本授業は、生理機能検査学 I AB II AB、生理機能検査学実習 I を終了された学生さんが受講されているはずです。つまり 2 年後期までに心電図、心周期、心音図、心エコーの初歩、腹部エコー、頸動脈エコー、乳腺エコーは学修しています。本授業はそれを基に学習内容を発展させる授業です。過去に学習している部分の復習は速く進行しています。ですから、授業進行は速いのです。2 年生までの基本をゆっくり復習するのは自学で行ってください。しっかりと 2 年後期までの授業内容を理解し身につけておくことを、現在の M2 学生に申し伝えます。2 年生後期のうちに学生さんに自覚してもらうことが大切だと、皆さんのご意見のおかげで思いました。ありがとうございます。</p> <p>3 年生後期の皆さんは、覚えるだけで無く、考えることです。そうすると他の科目と繋がって検査や病態がより分かりやすく楽しく学修できます。RCPC の授業もありますね。しっかりと考えていきましょう。卒業してのお仕事では、正解の分からないことが沢山あります。それに立ち向かえるのは自分の基礎力を用いて考える力です。楽しんで仕事をするためにもしっかりと基礎力と考える力を養ってください。</p> <p>勉強しましょう！</p> <p>勉強する学生には、応援しますよ。質問に来てくださいね。</p> <p>杉山でした。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	医療検査学科		学 年	3	
科 目 名	生理機能検査学実習Ⅱ		科目コード	M233701 M233702	
担 当 者	杉山育代、松田正文、塩谷英之、田村周二、今西麻樹子				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学習成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
4.5	4.5	4.5	4.6	4.6	
学生へのメッセージ					
<p>毎回の「学生による授業評価」はお疲れ様です。その中で皆さんの内、本授業に関連して授業時間以外での学修時間が2時間以上の学生が39名います。レポート作成にも時間が掛かると思いますが、週に1回の授業ですから、この時間くらい勉強して、自分で考える時間が必要です。そうしなければうわべだけの勉強でなかなか身につけません。39名の学生さんはしっかりと勉強できています。よく頑張っています。褒めたいと思います。今後も続けていきましょう。そうすると国家試験は簡単なものになり、基礎力と考える力が学生時代に身につけているとお仕事も楽しむことができます。応援しています。分からないことは質問に来てくださいね。</p> <p>さて、勉強時間が1時間以下の学生さんが12名います。勉強をしていないことを自覚できていることは偉いと思います。今から勉強しないと4年生で大変なことになります。もちろん国家試験は不合格となる可能性が大です。また、就職試験は4月から徐々に始まります。それには基礎力が必要ですから、基礎力の無いまま4年生前期を迎えると、なかなか就職試験にも合格しません。最悪は卒業試験が不合格になり卒業できないことです。</p> <p>勉強しましょう！</p> <p>私からはただ、それだけです。</p> <p>科目担当責任者 杉山でした。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	医療検査学科	学 年	3		
科 目 名	検査管理総論	科目コード	M234501		
担 当 者	林 伸英、田中 正義、前田 育宏				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学習成果)	カテゴリー V (総合評価)	
4.1	4.4	4.3	4.4	4.4	
学生へのメッセージ					
<p>以前は、ほとんどの検査部門はトップ（部長）が医師で、現場責任者が臨床検査技師長という組織構成でありました。臨床検査技師が専門技術者であると同時に組織を統括し、マネジメントすることが本来の姿であり、現在このような組織が多くなってきています。</p> <p>臨床検査技師として力量を磨かなければならないと思うきっかけが本教科の目的の一つであると考えられます。本教科は検査室の管理運営、医療安全、精度管理、検査結果の評価、進路等、すべての検査業務に共通する内容を含んでいます。従って、普通の教科のように専門性が見出しにくい内容であり、学生にはわかりにくい部分もあったかと思います。しかし、すべての臨床検査で求められる正確・迅速な検査結果報告のための必要最小限の考え方を網羅しており、卒業生からしばしば、「検査管理総論の重要性が今になってわかりました。」と聞くことがあります。あなた方が社会に出たらこのように感じる時がくることを望んでいます。</p> <p>各教員からのメッセージを示します。</p> <p>もともと学生にとっては興味を引く科目ではないので、PowerPointなどを挟み込んで楽しく聞けるよう努力したつもりである。さらに、小テストは、解答に「漢字○文字で」としてゲーム感覚でやりながら、復習ができる工夫した。学生さん、それぞれが自身の臨床検査技師としての将来の姿を意識してもらえればうれしいと思う。[林]</p> <p>福島原発事件以降、RIを危険視する流れが定着してきた。しかし、RIは正しく使用される限り安全性、信頼性、利便性、将来性の高い検査法である。将来RI検査の道を目指す諸君はこのことを肝に銘じて進んでいてもらいたいと思います。質問がほとんどないので、学生諸君が望む授業形態を教えてください。[田中]</p> <p>病院検査室において第三者評価を受けるということは、そこでの検査に対する信頼度の向上が期待され、今後はさらにISO 15189などの認定を受ける施設が増加することが予想される。学生の皆さんが将来病院に就職する場合は、ISO 15189などの臨床検査の品質マネジメントシステムは何らかの形で関りが出てくると思われ、今後もより一層理解を深めてもらえればと思う。また、本年度は授業ではパワーポイントを使用したが見</p>					

づらいとの意見があり、この点については改善したい。[前田]

学生へのメッセージ

学 科	医療検査学科	学 年	3		
科 目 名	医療安全	科目コード	M234801		
担 当 者	岡光幸代、井本しおん、大澤佳代、林伸英				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学習成果)	カテゴリー V (総合評価)	
4.3	4.2	4.0	4.0	4.1	
学生へのメッセージ					
<p>医療安全は、あなた方が医療人となったときに臨床の現場で直面する非常に重要な事項であります。この授業は看護学科と医療検査学科の合同で行うことによって、チーム医療の構成スタッフを目指す者が学生の中から学科を越えて医療安全について学んでもらう狙いがありますが、今年度はほとんどが遠隔授業となり、その目的自体が叶わない状況になってしまいました。</p> <p>授業内容、授業方法および学習成果の評価では、看護学科と医療検査学科ともまずまずの評価であり、前向きに学修する姿勢が窺えました。</p> <p>学生による授業評価での「動画配信だけでなく、授業資料の PDF も掲載して頂けると自己学修につながるため配信をお願いしたい」については、そのように対応したいと思います。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	医療検査学科	学 年	3		
科 目 名	遺伝子工学	科目コード	M236901		
担 当 者	坂本秀生				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学習成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.9	4.5	4.6	4.5	4.6	
学生へのメッセージ					
<p>この授業で学んだことは、遺伝子工学技術で基本中の基本であり、現場での操作の基本原理は同じあるので授業資料や教科書を見直して基本をもう一度理解しなおせば対応できます。例えば、臨床検査の現場では最先端の機器を用いて測定を行っているが、その測定原理は授業で学んだ事に基づき、吸光度の変化や抗原抗体反応であったりするのと同様です。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	医療検査学科		学 年	3	
科 目 名	BLS キャリアパスⅡ		科目コード	M23800	
担 当 者	澁谷 雪子、坂本 秀生、堀江 修、杉山 育代、田村 周二、島袋 梢				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学習成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
3.9	4.2	4.3	4.3	4.3	
学生へのメッセージ					
<p>本年度は、対面授業8回を実施し、授業は①小論文を作成し、皆さんでチェックをしあう、②将来の仕事内容（病棟、災害、地域・在宅など）について調べ、まとめる、③自己PRを作成する、④面接で必要なことを考え、まとめる という内容でした。</p> <p>授業評価の結果は、Ⅰ学生自身 3.9、Ⅱ授業内容 4.2、Ⅲ授業方法 4.3、Ⅳ学習成果 4.3、Ⅴ総合評価 4.3 でよい評価でした。設問11「授業の進行速度は適切であった」(4.34)、設問12「学生の質問や意見への対応が十分なされていた」(4.30)、設問13「自分にとって新しい考え方・発想を得ることができた」(4.32)、設問15「自分で調べ、考える姿勢が身についた」(4.30)と高評価でした。</p> <p>なぜ高評価に繋がったのかを考えてみました。将来の仕事内容（病棟、災害、地域・在宅など）について、皆さんが調べ、今の自分に何が必要かを考えるグループワークもあり、将来を考えることで積極的になれる、積極的に取り組んだという自信がついたため、高評価に繋がっているのではないかと考えています。「皆さんの頑張りのおかげです。」</p> <p>コメントも記述していただきました。「論文の書き方を詳しく聞けて良かった」、「小論文の書き方が難しかったが、チェックしていただき、嬉しかった」、「自分の書いた小論文にコメント・アドバイスをもらえるところが良かった」、「チームで組んで話し合うことで、違う意見も聴けて色々な考え方を知れるところが良かった」という意見がありました。小論文のチェック（アドバイス）もそうですが、多くの意見を聞き、考えることで、視野が広がると思います。これからも続けていってください。また、「遠隔でできる授業で、対面でやる意味があるのか」、「内容は力を伸ばせるようなものではないと感じた」という意見もありました。臨床検査技師の知識を理解する授業ではありませんので、そう感じたのだと思います。皆さんの将来に向けての意欲を引き出せるよう今後、伝え方、進め方を改善していきます。</p> <p>あと半年で就職活動が始まり、社会人になっていきます。BLS キャリアパスで考えた社会人（臨床検査技師）として必要なことをもう一度、振り返っておいてください。そして、理想の社会人（臨床検査技師）像に近づいていきましょう！</p>					

学生へのメッセージ

学 科	医療検査学科	学 年	4		
科 目 名	国際保健医療活動Ⅰ	科目コード	236201		
担 当 者	坂本秀生				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学習成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
4.0	4.2	4.0	4.3	4.1	
学生へのメッセージ					
<p>綺麗な環境で水は無料で安全が当たり前と思える国も世界では珍しく、衛生環境の良さも日本が世界に誇れる事である。当たり前の日常が幸せだったと、新型コロナウイルスが発生して気がついたように、日本の当り前は世界から見れば幸せに該当することもある。また、ホリスティック医療やアールベードのように、ある国では当たり前の考えや風習が有ることも本授業で知り得たと思う。</p> <p>日本の良さを認識し、諸外国から学ぶこともあることを本授業で理解し、皆さんが実社会でも様々な考え方に対応出来ることを願っています。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	医療検査学科	学 年	4		
科 目 名	臨床病態学Ⅲ	科目コード	M234201		
担 当 者	新谷路子、塩谷英之、井本しおん、岡田淳、岩越美恵、松田正文				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学習成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
3.7	4.2	4.2	4.2	4.2	
学生へのメッセージ					
<p>井本しおん先生 井本の講義スライドをマナバにアップしています。復習に役立ててください。</p> <p>松田正文先生</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「発展学習」であることを意識して、例年以上に（ほぼ確立されていることに絞ってはいませんが）新しい知見を入れたつもりです。 2. 今年度は取り扱ったところが狭い領域でした。次年度はもう少し取り扱う範囲を拡げるかどうか、迷っています。 3. 多くの授業科目があり大変だろうとは思いますが、授業以外の学習時間がこれでは病態生理などとの関連付けが不十分になります。他教科との関連付けを重視してください。 					

学生へのメッセージ

学 科	医療検査学科	学 年	4		
科 目 名	医療コミュニケーション	科目コード	M234701		
担 当 者	今西麻樹子、新谷路子				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学習成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.9	4.3	4.5	4.4	4.4	
学生へのメッセージ					
<p>臨床検査技師は「縁の下の力持ちで、ひとりコツコツと仕事する」とのイメージが未だありますが、どのような職種でも相手とのコミュニケーションは必要となってきます。本来の臨床検査技師の業務は、『検査前の説明→検査の実施→報告書の作成→結果の説明相談』までであり、検査の実施だけではなく検査の全過程に責任があります。</p> <p>「採血や採尿」「筋電図、肺機能」の検査（前）説明に比べて、「検査結果説明」は難しかったと感じたのではないのでしょうか。患者さんに向けた検査説明には検査に関する注意事項、検査値と病態、検査結果の解釈、検査の意義などの知識とともにコミュニケーションスキルも必要となります。大学で学んだ知識と技術を基礎に、就業して得る知識・技術・経験を積み重ね、検査を行うだけではなく「検査説明・相談もできる臨床検査技師」になってください。 【今西・新谷】</p>					

学生へのメッセージ

学 科	医療検査学科	学 年	4		
科 目 名	細胞検査学特論Ⅱ	科目コード	M237401		
担 当 者	布引 治 畠榮 佐野太亮				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学習成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
4.9	4.3	4.3	4.9	4.8	
学生へのメッセージ					
<p>前半が終了しました。かなりハードだったと思いますが、スタートした頃の自分を思い出して下さい。着実に向上しています。これからはさらに多くの症例を診て診断力に磨きをかけて下さい。所蔵の専門書をさらに読んで実力を高めて下さい。これからどんどん面白くなりますよ。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	医療検査学科	学 年	4		
科 目 名	労働衛生学Ⅱ	科目コード	M237901		
担 当 者	堀江修・堀江宏美・大野雅子				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学習成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
3.7	4.1	4.1	4.1	4.1	
学生へのメッセージ					
<p>授業評価をいただきありがとうございます。労働衛生学Ⅱはオムニバス教科ですが、本大学に移籍する前から担当していて、コロナ前後の授業の在り方が客観的に把握できる教科となっています。今回3年ぶりに全15回が対面授業となりました。昨年や一昨年のようなモザイク感はなくなったと思います。授業内容、授業方法、学習の成果、総合評価共に昨年より少し評価は上昇しました。対面で評価が上昇したのは、検査学の専門科目ではない教科の特性をよく表しているように思います。みなさんにさらに労働衛生学に興味を持ってもらえる授業を実施することを第一に考え、担当教員一同で統一感のある授業にしたいと思っています。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	医療検査学科	学 年	4		
科 目 名	医学検査サプリメントⅡ	科目コード	M238301		
担 当 者	畠 榮				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学習成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
4.6	4.0	3.9	3.9	4.0	
学生へのメッセージ					
<p>国家試験に必要な基礎知識を学習する授業です。学生自身によるグループワークおよびプレゼンテーションを中心とした授業を中心に行いました。後期も仲間と共に国試に向け各分野別の問題を勉強するようお願いします。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	医療検査学科	学 年	1, 2	
科 目 名	公衆衛生学実習	科目コード	M224201	
担 当 者	栃倉匡文			
カテゴリー別授業評価調査結果				
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学習成果)	カテゴリー V (総合評価)
4.5	4.4	4.3	4.4	4.4
学生へのメッセージ				
<p>今年度もアルコールバッチ試験に χ^2 検定を加えましたが、保健統計のちょうど良い復習になったのではないのでしょうか。これからも統計学をゲーム感覚で慣れ親しんでもらえればと思います。</p>				